

第2次環境基本計画後期計画の重点プロジェクトの進捗について

令和元年度第3回審議会
資料2

(1) 環境課題への対応

重点プロジェクト	現在までの取組み状況	取組みの効果、評価	今後の方向性
①温暖化対策 みんなで見える化	・環境家計簿の実施 (市内公立小学5年生約1,670名を対象)	夏休み期間中に、18校全て参加(参加児童数1,162名)。実施結果を各校にフィードバックした。今回の取組により、1週間で2,353kg-CO ₂ (杉の木換算※で約170本)のCO ₂ 削減効果が得られた。 ※杉の木が1年間に吸収するCO ₂ の量を約14kgとして計算	実施結果を今年度中に市HPに掲載予定。来年度も同様に夏休み期間中、全小学5年生に実施予定。全児童が参加し、学校でのSDGsなどの環境学習を通じて実施してもらえるように校長会議などに働きかけていく。
	・LED照明器具設置助成制度を実施 →同制度の周知(申請書中のアンケート、市報、HP、市内量販店等)	LED助成制度は、今年度から工事費助成(購入費用を含む。)に加え、購入費助成を新たに取り入れた。さらに、丸形蛍光灯からの取替えも対象としたことで、昨年度(21件)よりも大幅に申請が増え、既に申請数が予算上限に達し、12月中に受付を終了した。 (令和元年度実績:購入費助成105件、工事費助成《共用部分なし》81件、工事費助成《共用部分あり》6件)	来年度については、特に大きな制度の見直しを行わず、今年度と同様の助成制度を行う予定であるが、引き続き市報やHP等で周知を図ると同時に、さらに効果的な助成制度について検討する。
	・東京都環境局発行の「地球温暖化対策のためにできる冬の省エネ」に関するリーフレットをHPに掲載すると同時に、冬にできる省エネ対策を載せて市民に省エネを呼びかけた。また、リーフレットをSDGs講演会の会場で配布した。	多くの市民が省エネに関する情報に分かりやすく触れられるようにHPを作成した。	引き続き、家庭でできる省エネ対策や市民に有益となる都や国などの補助事業等に関し、市報やHPなどを通じた周知を行う。
②河川清掃で コベネフィット	・市民団体、市内高校生と協働で石神井川の河川清掃を実施 ・多摩六都科学館西東京ウィークで河川清掃に関するパネル展示を実施	・石神井川の河川清掃を通じ、プラスチックごみを始めとした様々な種類のゴミが川に捨てられ、川が汚染されていることが分かった。 ・科学館来館者へ石神井川の河川清掃について紹介し、活動への参加の呼びかけを行った。	・東京都立保谷高等学校の生徒が、2月に再度石神井川の河川清掃に参加し、今後も継続的に参加する予定。 ・引き続き、市民団体による河川清掃活動の市民への周知徹底に努め、河川清掃への参加者を増やしていく。
③マイバッグで お買い物	・多摩六都科学館西東京ウィークでプラスチックごみ問題についてのパネル展示を実施	レジ袋辞退率の周知など、パネル展示を通じてプラスチックごみ問題の啓発を行うことができた。	エコプラザでもパネル展示をする。また、必要に応じて追加で作成、展示などをしていく。
④みんな で 外来種駆除	・ハクビシン、アライグマの捕獲・駆除事業	今年度、現在までに9匹のハクビシンを捕獲・駆除した。	引き続き、市民からの問い合わせに応じ、外来動物の駆除事業を行う。捕獲率の向上のため、積極的に情報収集や市報・HPでの周知を行う。
	・ワルナスビ抜き取り大作戦!を実施 →公園指定管理者、市民団体の共同実施	2回の開催で延べ72名の参加があった。トゲだらけのワルナスビが無くなり、子どもたちが安心して走り回れる環境の整備ができた。	引き続き同様の事業を実施していく。また、エコプラザ西東京で外来種や生物多様性に関する展示や講座等を行う。
⑤まちなかの 自然に学ぶ	・自然に触れる、生き物観察のテーマで6講座を実施 ・ムラサキソウに関する協働プロジェクトに向けて市民団体と協議を重ねている。	・6講座で計142名の参加があった。参加者からは自然に触れ合える貴重な機会となったと、好評をいただいている。 ・ムラサキソウの復活について市民団体と協働で栽培、講座等の展開を検討中	引き続き事業を実施し、充実に努める。ムラサキソウの栽培と活用の詳細について、事業を開始する。

(2) 活動主体の支援・育成

重点プロジェクト	現在までの取組み状況	取組みの効果、評価	今後の方向性
①面的情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・HPで団体一覧を掲載 ・エコプラザ西東京登録団体の紹介冊子の作成 ・市内高校生によるエコ羅針盤記事の作成 ・多摩六都科学館のパネル展示で、市民団体による石神井川の清掃活動の紹介やプラスチック問題の啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状では、市のHPからは団体について具体的な情報が掲載されておらず、団体の活動内容を市民に十分に紹介できていない。 ・科学館を訪れた地域住民に、石神井川の清掃活動への参加を呼びかけた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HP上で、登録団体の紹介の記事を充実させる。各団体の活動紹介についても充実するように努める。 ・エコ羅針盤については、高校生と連携して内容作成中。3月号へ掲載し、高校生の取組みを多くの市民の目に触れられるようにする。エコ羅針盤等の高校生との連携事業を今後も継続していく。
②点的情報発信	市民団体の石神井川の清掃活動について、ごみ問題に関心のある高校生に情報提供を行い、高校生の石神井川の清掃活動への参加につなげた。	石神井川の清掃活動を行う市民団体と、ごみ問題に関心を持つ高校生を結び付け、高校生が清掃活動に継続して参加する仕組み作りができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も高校などの教育機関等に対し市民団体の活動について情報提供、紹介をしていく。また、①面的情報発信と連動し、HP上でそれぞれの団体の紹介記事を充実させる。 ・イベントの周知チラシ等の配布場所を、市内の大学などへ広げ、これまで以上に周知活動を積極的に行う。
③環境づくり	エコプラザ主催事業で、エコプラザ西東京登録団体が講師となる講座を開催した。	今年度は、現在までに6回の講座を開催した。講座を通して登録団体の活動に参加したい方も増えており、一定の成果が出ている。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、登録団体が講師を務める講座の充実を図る。 ・エコプラザ講座室に環境問題に関する啓発パネル等を展示し、一般利用者への環境啓発をする。 ・2月22日にエコプラザ登録団体が主催する猫の日イベントに協力する形で環境保全課として参加し、市民が安心してイベントに参加できる環境づくりを行う。

(3) 計画期間1年目の重点プロジェクト全体の評価

「1）環境課題」への対応

- ・「①温暖化対策みんなで見える化」に関しては、来年度も同様の事業を予定しており、順調に進捗している。
- ・「②河川清掃でコベネフィット」に関しては、市民団体と市内高校生を結びつけることができ、さらに継続的に清掃を行っていく方向性となっていることは評価できる。また、多摩六都科学館においても同事業の周知を実施しているが、更なる参加者の増加に向けた、あらゆる機会を通じた周知・啓発の取組みが必要となる。
- ・「③マイバッグでお買い物」に関しては、市民団体と連携してプラスチックごみ問題を扱った多摩六都科学館でのパネル展示において、普及啓発を行うことができた。しかし、マイバッグ利用の啓発など、レジ袋の使用抑制に向けたその他の具体的取組みを行うことができなかったことは、来年度以降の課題となる。
- ・「④みんなで外来種駆除」に関しては、ワルナスビの事業は継続実施ができていますが、市民の生物多様性についての関心を高めるため、より一層の事業の拡大、充実が必要になる。
- ・「⑤まちなかの自然に学ぶ」に関しては、現在市民団体と長期プロジェクトの進行を準備中であるため、仕組みづくりができつつあると言える。

「2）活動主体の支援・育成」

- ・「②点的情報発信」において、環境問題に関心のある高校生と重点プロジェクトへの結び付けができた。今後もこのような機会を増やしていき、さらに「①面的情報発信」と連動した情報発信を心掛けたい。
- ・「③環境づくり」については継続的に行っていくが、来年度以降はエコプラザの講座室等へのパネル展示、市民団体とのイベントの共同開催等、さらなる展開をしていきたい。